



2022年9月20日

各 位

会社名 株式会社LITALICO
代表者名 代表取締役社長 長谷川 敦 弥
(コード番号：7366 東証プライム)
問合せ先 専務取締役 辻 高 宏
(TEL. 03-5704-7355)

不正アクセス被害に関する調査結果のお知らせ

当社は、2022年6月24日付「不正アクセスによる被害発生について」にて公表しました通り、第三者による一部の社内データの暗号化と、一部の社内サーバーに対する不正アクセスの被害を受けたことを確認しました。

当社は、被害発生を認識後、速やかに関係機関への報告を行うとともに、被害の拡大防止策を講じた上で、社内チーム及び外部専門機関による詳細な調査を行ってまいりました。

この度、外部専門機関による調査が完了しましたので、下記の通り、調査結果及び再発防止策を報告致します。

(1) 調査結果について

外部専門機関による詳細な調査の結果、社内データが外部に持ち出された痕跡は確認されませんでした。また、外部において不正に公開されている事実や二次被害等についても現時点において確認されておりません。

外部専門機関の見解を踏まえ、当社と致しましては、社内データが外部に持ち出された可能性は極めて低いものであると判断しております。また、調査の結果、攻撃者によって開かれた可能性のあるファイルが一部あることを確認しております。

開かれた可能性のあるファイルには、合計72名分の個人情報が含まれており、その内訳は顧客情報が67名分、従業員情報が5名分となります。顧客情報67名分については、株式会社LITALICOパートナーズが運営するLITALICOジュニアスタンダードコースのお客様に関するものが56名分、株式会社LITALICOライフのお客様に関するものが11名分となります。

(2) 対象となる方への対応

攻撃者により外部に持ち出された可能性を示す痕跡等は確認されなかったものの、個人情報を含むファイルが不正に開かれた可能性のある方には、順次、個別にお知らせを行い、今後、二次被害等の疑いがある場合には当社に連絡をいただくようご依頼しております。

(3) 外部専門機関への調査依頼

当社が外部専門機関に依頼した調査内容は以下の通りです。

- ・ 不正アクセス被害を受けた可能性のある全ての機器に対する安全性確認
- ・ 被害を受けた全ての機器のフォレンジック及び各種ログの解析を通じた被害の詳細・範囲の分析
- ・ 侵入経路の調査、及び安全性確認
- ・ 外部サイト等のモニタリング

(4) 再発防止策について

当社は、2022年7月15日に、調査方針や再発防止策について助言を受けることを目的として、外部有識者から構成される情報セキュリティ特別委員会を設置いたしました。

情報セキュリティ特別委員会（五十音順）

- ・ 猪俣 敦夫 委員（大阪大学 サイバーメディアセンター 教授）
- ・ 神菌 雅紀 委員（デロイト トーマツ サイバー合同会社 執行役員CTO）
- ・ 北條 孝佳 委員（西村あさひ法律事務所 弁護士）

当社は、同委員会からの助言を踏まえ、以下の通り再発防止と情報セキュリティの強化に取り組んでまいります。

- ・ 従前から、全ての社内のPCにEDRを導入していましたが、これに加え、新たにサーバーに対するEDRを導入することといたしました
- ・ 外部専門機関によるセキュリティ診断の対象範囲を広げるとともに、実施頻度を向上させることとしました
- ・ 情報セキュリティ部門の人員増強を含めた体制の強化を図ることといたしました
- ・ 常設の社内委員会を新設し、情報セキュリティ規程等の周知及び遵守の徹底を図ることといたしました

本件による業績に与える影響は軽微であります。今後、お知らせすべき事実が判明した際には、改めて公表致します。

本件により関係する方々に多大なるご心配をおかけすることを深くお詫び申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

info@litalico.co.jp（不正アクセス被害 お客様専用窓口）

以上